

主直日誌

4月 13日(金) 天候 bc

主直氏名

【実習・課業の具体的な内容】

- ・ 船内日課(出港式、出港作業、航路研究)

【感想(一日を振り返り、勉強になったことや感じたこと)】

14 日間の第1次航海が始まりました。本科の頃は離れてみていた出港作業に参加することが航海の皮きりとなりました。岸壁に船が当たらないようにフェンダーを構えたり、船からの転落を防ぐためのロープを張るといった単純作業でありましたが、重要で、危険がある作業で緊張し、神経を使いました。出入港作業はまだまだ色々ことを学ばなければなりません。沿岸航海と遠洋航海とでは作業が違ってきます。入港では投錨作業もあります。今は一つ一つの作業に時間がかかっています。瀬戸内海を走る今航は出入港作業や投揚錨作業の機会が多々あるので、積極的に参加し、安全にかつ自然と作業がこなせるように、それらの作業を覚えていきたいです。

今は遠州灘沖、潮岬、大王崎と順調に航行しています。明日の朝には瀬戸内海に入ります。瀬戸内海には海上交通安全法という海上の法律によって定められた船舶交通が輻輳する主要航路がいくつかあります。明日はその最初の航路、明石海峡航路を航行します。瀬戸内海を航行するにあたって、班毎に分かれて航路研究といった形での事前学習をしました。私の班は関門海峡、神戸港、明石海峡航路を調べました。明石海峡航路は航路幅は広く、短い航路です。しかし、漁船などの航行が多く、最も潮流速い航路の 1 つです。航路見学実習では、調べたことを目で見て確認し、どのように船を動かしていけばよいか、航行していて何に気をつけなければならないかを考えながらしっかり学んでいきたいと思っています。

明日からの航路見学実習に期待をこめ、今日は早く寝ます。



良い天候に恵まれ、無事焼津港を出港しました！



ブリッジは緊張感があります。